

る

らる

【活用】

基本形	る	らる
未然形	れ	られ
連用形	れ	られ
終止形	る	らる
連体形	るる	らるる
已然形	るれ	らるれ
命令形	れよ	られよ
活用の型	下二段型	下二段型

【接続】

「る」……四段・ナ変・ラ変動詞の未然形

「らる」…四段・ナ変・ラ変以外の動詞の未然形

る

らる

【意味】

(1)

受身

〈…レル…ラレル〉

- ① 軒近き荻のいみじく風に吹かれて、砕けまどふが、
軒近くの荻が激しく風に吹かれて、砕け散るのが、
② ありがたきもの、舅にほめらるる婿。

めったにないもの、舅にほめられる婿。

(2)

尊敬

〈…レル…ラレル…ナサル・
オ…ニナル〉

- ③ かの大納言、いづれの船にか乗らるべき。

あの大納言は、どの船にお乗りになるだろうか。

る

らる

【意味】

(3) 自発

へ（自然ト）…レル…セズニハイラレナ
イ

④住みなれしふるさとかぎりなく思ひ出でらる。

住み慣れたものの家がこの上なくなつかしく思い出される。

(4) 可能

へ…デキル

⑤家の造りやうは、夏を旨とすべし。冬はいかなる所にも住まる。

家の造り方は、夏を主とするのがよい。冬はどのような所にも住むことができる。

⑥恐ろしくて寝もねられず。

恐ろしくて寝ることもできない。

る

らる

【「る」「らる」意味の判別法原則】

(1) る・らる＋打消・反語

↓
可能

(2) 敬語動詞＋る・らる

↓
尊敬

(3) る・らる＋給ふ

↓
受身・自発

(4) 知覚・心情を表す動詞＋る・らる

↓
自発

(5) …に…る・らる

↓
受身